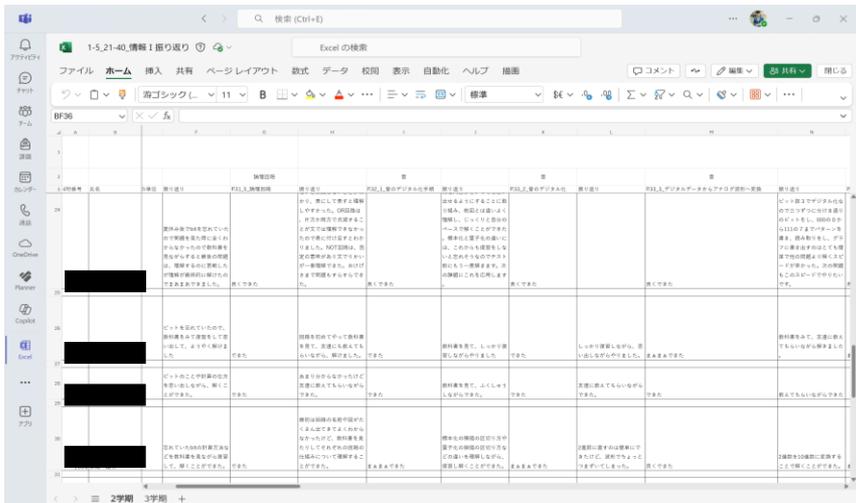


リーディングDXスクール事業【実践事例】

愛知県立杏和高等学校

【取組内容】表計算ソフトの協働編集機能を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」



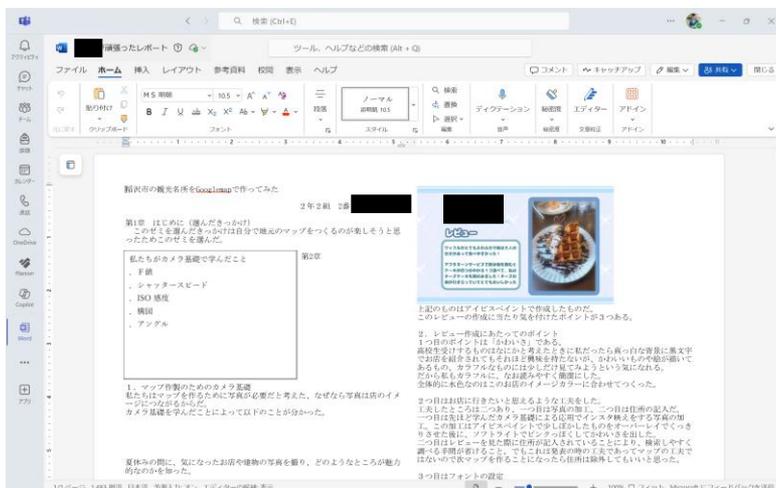
チャットツールを授業中に活用し、ファイルを共有した。協働編集することでこれまでにない活用方法が見いだせた。ただし、個別最適な学びを実施した結果、進度が揃わずに考査を迎えてしまうこともあった。この反省を活かし、一斉授業と個別最適な学びのハイブリッド方式で授業を進めた。チャットツールの課題配信機能を利用することで、生徒がどの課題に取り組んでいるのかを把握することができた。また、取り組んでいる最中の課題のファイルを開くと、生徒のカーソルが確認でき、テキストを入力している様子を見ながら机間指導を行うことができた。

【取組内容】 オフィス系ソフトの操作方法習得を手段としたタブレット端末の日常的活用



以前からカード型クラウド共有学習ツールを利用してきたが、生徒らの将来を見据えて、オフィス系ソフトの操作方法の習得にも力を入れたいという課題を感じていた。

この課題を解決するために、授業中にチャットツールを日常的に活用することを心掛け、総合的な探究の時間でのレポート執筆活動においてもワープロソフトを活用した。タブレット端末を普段の授業から利用し続けることで生徒も操作に慣れていき、操作のリテラシー向上も見られた。



【取組内容】 チャットツール + Webフォーム + クラウド型共有フォルダを利用した欠席連絡まとめ

	1組	2組	3組	4組	5組	6組
1	欠席: 自転車の事故	欠席: 風邪	欠席: 諸用	欠席: 風	欠席: 来週から行	欠席: 胃腸風邪だった
2	欠席: 葬式					
3						
4						
5						
6						
7	総引: 祖父葬儀					
8						
9						
10			欠席: インフル			
11						欠席: 頭痛
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						

チャットツールが導入された当時から実装していた欠席連絡のフォーム受付は、自動化ツールを利用しチャット機能で通知を送る仕組みを運用していた。しかし担任の先生方から「通知の中から自分のクラスの生徒を探すのが面倒だ」という意見があり、改善することを目指した。無理にWebフォームとチャットツールを繋ぐのではなく、表計算ソフトのFILTER関数を利用することで解決した。

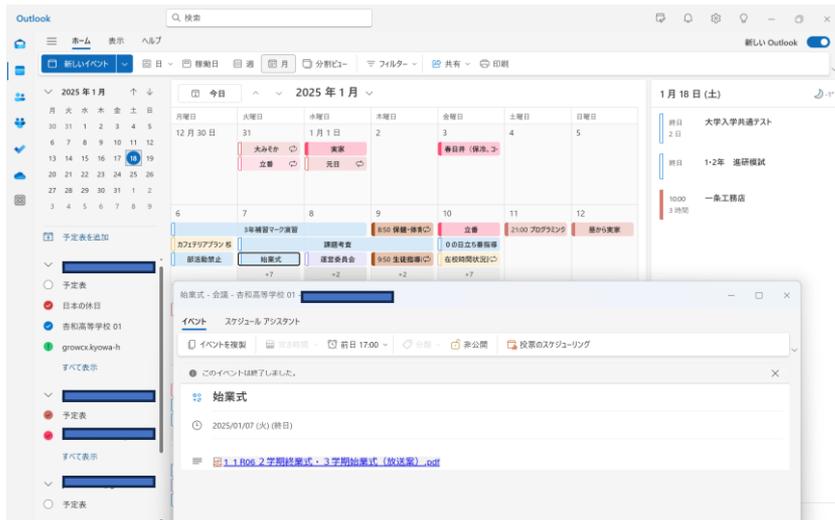
生成AIに表計算ソフトのスクリーンショットを貼り付けながら互いに試行錯誤することで、ソフトに貼り付けるだけで動作する関数を組み合わせてくれた。エラーが発生した際は生成AIに貼り付けるだけで修正してくれたので、プログラミングや表計算ソフトの関数を組み合わせる作業の効率が格段に向上した。

【取組内容】 カレンダーによる職員会議資料の整理

メールソフトは長らくメールクライアントとしての印象が強かったが、クラウド化されたことで、これまで付属品程度に認識し利用してこなかったカレンダーの機能が便利になった。

職員会議で提示された学校行事の要項は、実施日の前日や当日の朝に詳細の確認が必要となり、会議資料が紙だった頃は、どこにファイリングしたのかとよく探ることがあった。

メールソフトのカレンダー機能を利用して学校行事を予定として追加し、会議で提示された要項のPDFの共有リンクを貼り付けたことで、必要な文書にアクセスし易くなった。他の教員とも予定を共有することで、全ての先生が紙を探さず、その日の日程を確認できるようになった。DXで「モノを探す」時間を大幅に短縮できた。



【取組内容】 クラウド型共有フォルダによる朝の打ち合わせの効率化

朝の打ち合わせ		2025年1月9日(木)	
担当分掌等	打ち合わせ事項	具体的内容	
2 教務	3年生学年末考査監督割の入力について	年休・出張・巡回等の入力をお願いします。 1・2年生の授業など入っている時間には「授」と入力してください。入力切は、1/16(木)です。ご協力をお願いします。 Teamsにもリンクあります。	
8 生徒会	春季球技大会について	1・2年生の担任・副担任の先生方、本日7限目LTにてドッチビーのチーム決めを行っていただきます。よろしくおねがいします。期限1月24日までです。	
2 教務	入試選抜委員会について	1 / 17 (金) 16 : 20から入試選抜委員会を行います。	
6 保健厚生	遠隔授業3210	本日より遠隔授業スタートします。	

始業時に行われる朝の打ち合わせにおいて、以前は教頭席の前に置かれた紙に記入していた。共有フォルダを整備してからは表計算ソフトのファイルへの入力に変わったものの、誰かが編集している間は読み取り専用でしか開くことができなかった。クラウド型共有フォルダの運用が始まってからは同時に編集でき、リアルタイムで反映されるようになった。今となっては当時 チャットツールに移行しなくて良かったと思っている。